

令和6年度の研究テーマ

**生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践
～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～**



北海道中札内高等養護学校

■昨年度の研究テーマからみえるもの

「生徒の“主体的に人とかわる力”を育成するための授業づくり」
～日常的な実態把握から障がいの特性に配慮した指導法の探求～

■今年度の研究の成果

- ・良さも含めた丁寧な実態把握
- ・チームで授業を計画し、見合う
- ・反省からより良い方策を探求

適切な目標設定と具体的な取組

授業改善

・昨年度の取組では、実態把握の基本について学び、良さも含めた丁寧な実態把握を行うことで適切な目標設定と具体的な取組の実践につながりました。また、年2回の研究授業を通して、チームで授業を計画し、お互いに見合い、反省の中からより良い方策を探求するという一連の流れが、授業改善に向けた一つの形になっていたことも成果としてあげられます。

■今年度の研究の課題

- ・研究授業だけでは、生徒の変容をみることは難しい
- ・授業改善につながる考え方として「生徒の変容をどのようにみるか」が課題

各授業で、的確な実態把握をもとにした
中・長期的な目標の設定と、実践の共有
が必要

・昨年度の研究から見えてきた課題「生徒の変容を1回の研究授業だけでみるのが難しい」を、改めて確認。授業改善をさらに進めていくには生徒の変容をどのように見るかが課題と考え、各授業で、的確な実態把握をもとにした中・長期的な目標を設定し、各授業の実践を共有することが必要。

■今年度の研究テーマ

生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践 ～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～

【仮説】

- ・ R5年度の取組から、「主体的にかかわる力を育成」するための方策を継承しつつ、**授業づくりを通して検証を行う**ことで、**より効果的な方策が見つかる**だろう。
- ・ 年間を通して各グループで、**指導案（細案）を作成**し、「生徒観」「指導観」「教材観」「単元の目標」等について共有することで、**授業の質を高めるために必要なものが見えてくる**だろう。

今年度のグループ研

- ・ 授業づくりに取り組むG研（指導案細案検討、反省会）
- ・ 様々な学校課題（生徒指導、教育課程など）についてテーマを決め、職員全員で議論し、共通理解を図る

→ これまでのG研は、研究部だけが使う時間で、指導案の検討や授業研後の反省会などを実施してきました。今年度は、「授業づくりに取り組むこと」と「学校課題について職員全員で話し合うこと」の2つを実施しました。

「学校課題」では、研究部と生徒指導部、情報教育部など他分掌と連携し、たとえば「生徒指導のねらいや指導方法の共有化のための話し合い」や「各授業での取り組みを整理するための話し合い」、「授業や業務のヒントとなるミニ研修」を行うことを考えて取り組みました。

■今年度の研究推進スケジュール

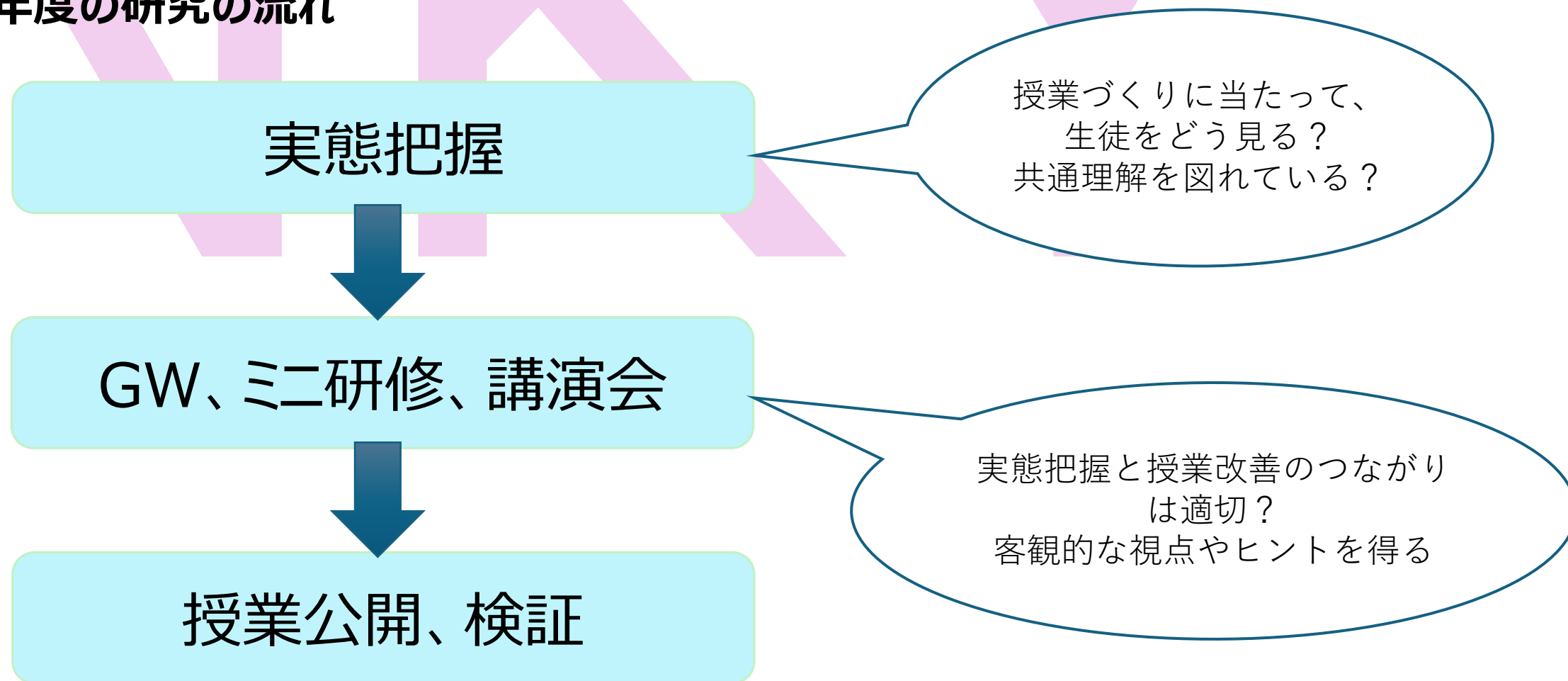
・今年度の研究推進のスケジュール（予定）です。
昨年度と違う部分は、研究日（昨年度でいうグループ研究）の数を増やしている点です。
その理由は、G研のあり方を見直す（幅を持たせる）ためです。

また、今年度の公開研では細案を作成します。
授業づくり、細案を作成するに当たって、生徒の実態把握や、合理的配慮、生徒の背景にあるものなどの理解が必要になってきますので、指導案作成に取り組む前に、そういった内容を深めたり、考えたりすることができるグループワークやミニ研修を実施出来るよう計画しました。

実際に指導案作成に取り組み始めたのは、夏頃、2学期初旬となり、それまでの研究日での取り組みが、そのまま細案に反映できるような内容を検討して実施することが出来ました。

月	行事・業務予定	月	行事・業務予定
4	全体研究Ⅰ（5日） 研究日①（17日） 研究日②（24日）	11	研究日⑨（1日） 研究日⑩（13日）
5	研究日③（31日）	12	研究日⑪（20日） 公開研究会（20日）
6	研究日④（26日）		
7	研究日⑤（3日） 研究日⑥（19日）	1	
8	夏の講演会（6日）	2	研究日⑫（3日） 研究日⑬（19日）
9		3	全体研究Ⅱ、 促進費報告会（14日）
10	研究日⑦（16日） 研究日⑧（25日）		

■今年度の研究の流れ



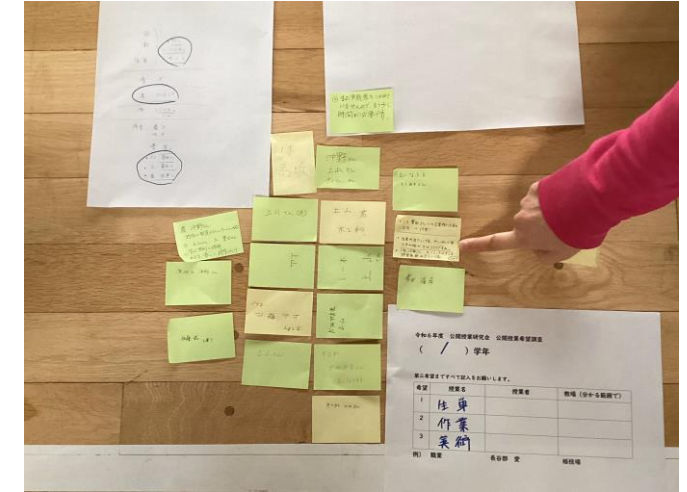
・今年度の大きな流れとしては、まず生徒の主体的な学びのため、生徒の良さを中心に実態把握を行ったり、共通理解を図る時間としました。そして、グループでの意見交流や外部講師の講演によって、客観性を持たせながら、実態把握や授業作りを進めることとしました。12月の公開研で、「授業での取り組みが実態と合っていたか」「そもそも生徒の実態の見立てが合っていたのか」などを検証を行いました。

■研究日①

・各学年、12月の公開研究会で公開する授業を1つ決めていただきました。

三カ年計画の最後の年であるため、昨年度授業を公開していない先生がMTであること、生徒の実態をふまえて、教材、題材、進め方などの工夫をより出し合えるような授業を、など決定にあたっていくつか条件を設定しました。

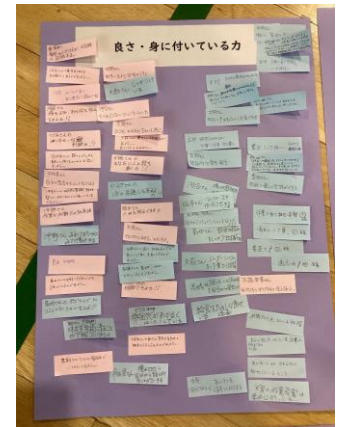
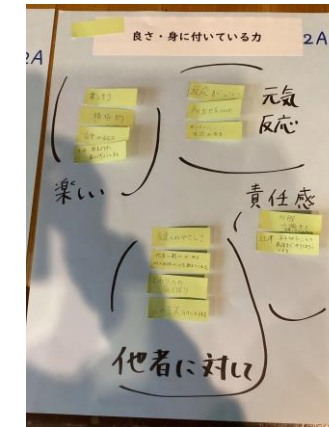
- 1 学年 生活単元学習
- 2 学年 音楽
- 3 学年 国語・数学 となりました。



■研究日②

・研究日①で決定した授業の対象生徒を中心に、生徒の良いところや現時点で身につけている力に着目して話し、各学年ごとにいくつかグループを作り交流しました。良さや現時点できていること、身に付いている力を整理し、それらを授業にどう生かすかを考える時間となりました。

- 1 年生は、学級スタッフごとに、4月時点で見えている生徒の実態の共通理解を図る時間となりました。
- 2 年生は、生徒の良さから、タブレット端末を使った学習、発表形式の学習などのアイデアが出ていました。
- 3 年生は、生徒同士が相手の良さや課題を理解し接している場面が見られているため、学年単位での活動について意見が出ていました。



■研究日③

ミニ研修ということで、「みんなで使ってみよう GoogleClassroom」と題して、情報教育部と協力して行いました。前回の研究日でICTについても意見が出ていましたが、必ず公開研や今後の授業で使用するためにというわけではなく、手立ての1つとして先生方が使えるようにという視点で実施しました。



■研究日④

・研究日④では、カリキュラムマネージャーの寺田先生による視察報告を行いました。



■研究日⑤、⑥

2024.7.3 研究日について

テーマごとに、少人数でアイデアを出し合う時間とします。
「担任をしている生徒や、授業を担当している生徒の課題や目標に対する手立て」「指導していく中で困っていること」「他学年、他学科の先生にアイデアをもらいたいこと」などから、先生方と交流したい、アイデアがほしい、気になっている、という内容を入力してください。

例：不登校、愛着、人との距離感、授業に集中する・参加することが難しい、気持ちの表出が難しい、自傷、他害・暴力、家庭・外部との連携 など

※ 6月28日朝までに入力をお願いします。

7.3に、交流したい、アイデアがほしいという内容を入力してください。
※複数ある場合、箇条書きで羅列して構いません

記述式テキスト（長文回答）



- 7月は研究日が2回設定。
1回目は、職員にアンケートを実施して研究日に交流してみたいテーマを募集。
指導のアイデアがほしい内容ごと、以下のグループに分かれて交流を行いました。

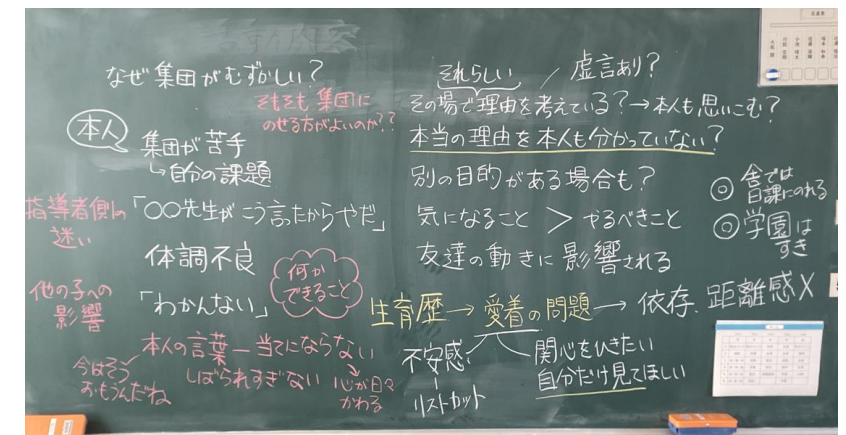
ADHDの特性がある生徒について

愛着障害の特性がある生徒について

自閉スペクトラム症の特性がある生徒について

集団参加が難しい生徒について

- 上記に示した特性でグループ分けを行い、より生徒指導に関わる内容を深めていく形でケース会議を行いました。授業での工夫、働きかけ方、実態や特性によつてのアプローチの仕方、家庭、外部との連携について、必ずしも集団参加（学校生活に乗ること）がゴールにならなくてもよいなど、経験談や新しい発見があり、充実した時間となりました。



■夏季講演会

・8月6日には、市立札幌豊明高等支援学校の菅原尚俊（すがわらなおとし）先生にお越しいただき、新しい生徒指導提要の具現化についてお話しいただく講演会を実施。

本校だけでなく、幕別分校や中札内村の小中学校、更別農業高校の先生方にもお声掛けして開催。



・新しい生徒指導提要について、目の前の問題に対応するといった課題解決的な指導だけではなく、成長を促す指導など積極的な生徒指導を充実させる、プロアクティブ（先行的）な生徒指導についてお話ししていただきました。



研究主題

「生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践」 ～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～

□ 目的

・教育関係者等をはじめ、様々な方に授業の研究実践を公開することにより、本校の教育活動への理解と、本校職員の専門性や指導力の向上を図る機会とする。

・公開授業での生徒の姿から、「生徒の主体的にかかわる力」の育成について改めて考えて交流することで、授業実践の成果を共有し、今後に向けて、課題などを解決する糸口を得る機会とする。

北海道中札内高等養護学校
令和6年度 公開研究会の御案内(三次)

令和6年度の研究テーマ
生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践
～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～

令和6年 12/20 [FRI]

集合形式	8:50	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	13:40	15:10	15:20	15:30
一受付	一開会	【全体会】 今年度の研究について (体育館)	【授業公開】 第1学年 第2学年 第3学年	【分科会】 公開授業についての協議	昼食	「インクルーシブな学校運営モデル事業」の活動報告会	【講演会】 「知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメント」～教育課程の改善や授業間のつながりについて～ 丹野哲也氏	【閉会】		
連絡					12:45～ 接続開始	【講演会】 (Zoom 視聴)				

内容

全体会 → 今年度の本校の研究について報告させていただきます。
授業公開 → 本校の授業を公開します。
分科会 → 公開する授業による実践報告、並びに「生徒の主体的にかかわる力を育成する取組」について、参加者で協議する予定です。
※分科会は2次室内より時間が変更になっています。
「インクルーシブな学校運営モデル事業」の活動報告会
→ 今年度、文部科学省の「インクルーシブな学校運営モデル事業」の委託による「交流および共同学習を促進させた柔軟で新しい授業の在り方の検討・実践」について、更別農業高校と取り組んできた活動について報告いたします。

【講師】丹野 哲也 氏
(独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部上席総括研究員)

・東京都立の特別支援学校などの教諭、主幹教諭、東京都教育庁指導部指導主事、統括指導主事を歴任し、2013年4月より文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官、2017年1月より同初等中等教育局視学官を経て、2024年4月より現職。
文部科学省で編集発行している「季刊特別支援教育」「初等教育資料」「中等教育資料」等に解説や論説、また、特別支援教育に関連したエッセイなど多数執筆。全国の特別支援学校や小・中学校などで研究授業における助言や講演の実績多数。

※ 講演会については集合形式の他、Zoomによる遠隔形式も予定しています。

会場：北海道中札内高等養護学校
〒089-1345 北海道河西郡中札内村東5条南1丁目8-1 Ta0155-68-3266
URL <http://www.nakasatsunaikoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp/>

研究主題

「生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践」
～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～

・授業公開
→分科会
(研究討議)

・「インクルーシブな学
校運営モデル事業」の
活動報告会

・講演会
「知的障害教育におけるカリ
キュラムマネジメント」～教
育課程の改善や授業間の
つながりについて～



■公開授業

- ◆第1学年（生単）
→ 窯業科技術室
- ◆第2学年（音楽）
→ 縫工室
- ◆第3学年（国語）
→ 被服室

■協議内容

→公開授業の実践報告、並びに「生徒の主体的にかかわる力を育成する取組」について参加者で協議する時間となっております。

- （内容） 1：協議の流れの説明
2：授業者から実践報告
3：生徒の主体的にかかわる力を育成する取組について協議
4：研究協議のまとめ



令和6年
12/20
【R1】

北海道中札内高等学校
令和6年度 公開研究会の御案内(三次)

令和6年度 研究テーマ
生徒の主体的にかかわる力の育成を目指す授業実践
～「算元の計画」中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～

期	日	時間	内容
第1期	11月11日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月12日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
第2期	11月13日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月14日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
第3期	11月15日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月16日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)

期	日	時間	内容
第4期	11月17日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月18日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
第5期	11月19日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月20日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
第6期	11月21日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)
	11月22日	15:00～16:30	【算元の計画】 中・長期的な取組 について(準備)

内容

- 今年度の取組について報告させていただきます。
- 本校の取組を紹介します。
- 公開授業による実践発表、質疑応答を行います。

【オンラインで公開研究会を実施するにあたって】

→ 本校で、公開研究会を「オンライン」で実施する予定です。

→ 公開研究会の開催に際しては、ご参加の先生方にはご迷惑をおかけしますが、お断りさせていただきます。

→ 本校で、公開研究会を「オンライン」で実施する予定です。

→ 公開研究会の開催に際しては、ご参加の先生方にはご迷惑をおかけしますが、お断りさせていただきます。

【講師】丹野 新也 氏
(独立行政法人 独立行政教育研究開発機構 情報・ICT部 1 課 課長補佐)

独立行政法人教育研究開発機構の職員として、情報・ICT部 1 課 課長補佐として、令和5年度、令和6年度、令和7年度、令和8年度、令和9年度、令和10年度、令和11年度、令和12年度、令和13年度、令和14年度、令和15年度、令和16年度、令和17年度、令和18年度、令和19年度、令和20年度、令和21年度、令和22年度、令和23年度、令和24年度、令和25年度、令和26年度、令和27年度、令和28年度、令和29年度、令和30年度、令和31年度、令和32年度、令和33年度、令和34年度、令和35年度、令和36年度、令和37年度、令和38年度、令和39年度、令和40年度、令和41年度、令和42年度、令和43年度、令和44年度、令和45年度、令和46年度、令和47年度、令和48年度、令和49年度、令和50年度、令和51年度、令和52年度、令和53年度、令和54年度、令和55年度、令和56年度、令和57年度、令和58年度、令和59年度、令和60年度、令和61年度、令和62年度、令和63年度、令和64年度、令和65年度、令和66年度、令和67年度、令和68年度、令和69年度、令和70年度、令和71年度、令和72年度、令和73年度、令和74年度、令和75年度、令和76年度、令和77年度、令和78年度、令和79年度、令和80年度、令和81年度、令和82年度、令和83年度、令和84年度、令和85年度、令和86年度、令和87年度、令和88年度、令和89年度、令和90年度、令和91年度、令和92年度、令和93年度、令和94年度、令和95年度、令和96年度、令和97年度、令和98年度、令和99年度、令和100年度、令和101年度、令和102年度、令和103年度、令和104年度、令和105年度、令和106年度、令和107年度、令和108年度、令和109年度、令和110年度、令和111年度、令和112年度、令和113年度、令和114年度、令和115年度、令和116年度、令和117年度、令和118年度、令和119年度、令和120年度、令和121年度、令和122年度、令和123年度、令和124年度、令和125年度、令和126年度、令和127年度、令和128年度、令和129年度、令和130年度、令和131年度、令和132年度、令和133年度、令和134年度、令和135年度、令和136年度、令和137年度、令和138年度、令和139年度、令和140年度、令和141年度、令和142年度、令和143年度、令和144年度、令和145年度、令和146年度、令和147年度、令和148年度、令和149年度、令和150年度、令和151年度、令和152年度、令和153年度、令和154年度、令和155年度、令和156年度、令和157年度、令和158年度、令和159年度、令和160年度、令和161年度、令和162年度、令和163年度、令和164年度、令和165年度、令和166年度、令和167年度、令和168年度、令和169年度、令和170年度、令和171年度、令和172年度、令和173年度、令和174年度、令和175年度、令和176年度、令和177年度、令和178年度、令和179年度、令和180年度、令和181年度、令和182年度、令和183年度、令和184年度、令和185年度、令和186年度、令和187年度、令和188年度、令和189年度、令和190年度、令和191年度、令和192年度、令和193年度、令和194年度、令和195年度、令和196年度、令和197年度、令和198年度、令和199年度、令和200年度、令和201年度、令和202年度、令和203年度、令和204年度、令和205年度、令和206年度、令和207年度、令和208年度、令和209年度、令和210年度、令和211年度、令和212年度、令和213年度、令和214年度、令和215年度、令和216年度、令和217年度、令和218年度、令和219年度、令和220年度、令和221年度、令和222年度、令和223年度、令和224年度、令和225年度、令和226年度、令和227年度、令和228年度、令和229年度、令和230年度、令和231年度、令和232年度、令和233年度、令和234年度、令和235年度、令和236年度、令和237年度、令和238年度、令和239年度、令和240年度、令和241年度、令和242年度、令和243年度、令和244年度、令和245年度、令和246年度、令和247年度、令和248年度、令和249年度、令和250年度、令和251年度、令和252年度、令和253年度、令和254年度、令和255年度、令和256年度、令和257年度、令和258年度、令和259年度、令和260年度、令和261年度、令和262年度、令和263年度、令和264年度、令和265年度、令和266年度、令和267年度、令和268年度、令和269年度、令和270年度、令和271年度、令和272年度、令和273年度、令和274年度、令和275年度、令和276年度、令和277年度、令和278年度、令和279年度、令和280年度、令和281年度、令和282年度、令和283年度、令和284年度、令和285年度、令和286年度、令和287年度、令和288年度、令和289年度、令和290年度、令和291年度、令和292年度、令和293年度、令和294年度、令和295年度、令和296年度、令和297年度、令和298年度、令和299年度、令和300年度、令和301年度、令和302年度、令和303年度、令和304年度、令和305年度、令和306年度、令和307年度、令和308年度、令和309年度、令和310年度、令和311年度、令和312年度、令和313年度、令和314年度、令和315年度、令和316年度、令和317年度、令和318年度、令和319年度、令和320年度、令和321年度、令和322年度、令和323年度、令和324年度、令和325年度、令和326年度、令和327年度、令和328年度、令和329年度、令和330年度、令和331年度、令和332年度、令和333年度、令和334年度、令和335年度、令和336年度、令和337年度、令和338年度、令和339年度、令和340年度、令和341年度、令和342年度、令和343年度、令和344年度、令和345年度、令和346年度、令和347年度、令和348年度、令和349年度、令和350年度、令和351年度、令和352年度、令和353年度、令和354年度、令和355年度、令和356年度、令和357年度、令和358年度、令和359年度、令和360年度、令和361年度、令和362年度、令和363年度、令和364年度、令和365年度、令和366年度、令和367年度、令和368年度、令和369年度、令和370年度、令和371年度、令和372年度、令和373年度、令和374年度、令和375年度、令和376年度、令和377年度、令和378年度、令和379年度、令和380年度、令和381年度、令和382年度、令和383年度、令和384年度、令和385年度、令和386年度、令和387年度、令和388年度、令和389年度、令和390年度、令和391年度、令和392年度、令和393年度、令和394年度、令和395年度、令和396年度、令和397年度、令和398年度、令和399年度、令和400年度、令和401年度、令和402年度、令和403年度、令和404年度、令和405年度、令和406年度、令和407年度、令和408年度、令和409年度、令和410年度、令和411年度、令和412年度、令和413年度、令和414年度、令和415年度、令和416年度、令和417年度、令和418年度、令和419年度、令和420年度、令和421年度、令和422年度、令和423年度、令和424年度、令和425年度、令和426年度、令和427年度、令和428年度、令和429年度、令和430年度、令和431年度、令和432年度、令和433年度、令和434年度、令和435年度、令和436年度、令和437年度、令和438年度、令和439年度、令和440年度、令和441年度、令和442年度、令和443年度、令和444年度、令和445年度、令和446年度、令和447年度、令和448年度、令和449年度、令和450年度、令和451年度、令和452年度、令和453年度、令和454年度、令和455年度、令和456年度、令和457年度、令和458年度、令和459年度、令和460年度、令和461年度、令和462年度、令和463年度、令和464年度、令和465



・インクルーシブ事業の報告を聞いていただきました。「インクルーシブな社会」をつくるための学校づくり、どうしてこの事業に取り組むのかといった研究の背景と目的について報告しました。また、本年度の成果報告として、「推進体制・連携のための仕組み」「教職員の研修の充実」「これまでの交流方法の工夫」「共に学ぶことを通して」について説明し、会場に足を運んでいただいた来校者の他、道内外から遠隔で参加された方々に向けて報告させていただきました。これからも教育活動の取組が発信できる学校でい続けられるよう、たゆまぬ研修と実践を行っていきます。

■講演会

「知的障害教育におけるカリキュラムマネジメント」 ～教育課程の改善や授業間のつながりについて～

講 師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
情報・支援部上席総括研究員 丹野 哲也 氏



・本講演では、特別支援教育の動向を踏まえて「主体的・対話的で深い学び」について改めて考える機会となり、「どのような資質・能力（将来にわたり何ができるようになるのか）の育成を目指すのかを明確にする」ことや、画一的な指導になっていないか、「個別最適な学び」を意識していくこと、児童生徒自身で気づきが生まれる授業デザインなど、大変有益な内容ばかりで得るものが多くありました。

■グループ研究（教務部と連携）

学校教育目標をもとに、意見を出し合う時間を設定

学校教育目標「心豊かに生きる力を育てる」

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1 心身の健康を維持・増進する力 | 「健康でたくましい心と体を持った生徒」 |
| 2 人と関わる力 | 「適切なコミュニケーションを図り、素直な心を持った生徒」 |
| 3 自分を整える力 | 「周囲と相談しながら自己の感情や行動を調整できる生徒」 |
| 4 主体的に生活する力 | 「主体的に学び、生き生きと活動できる生徒」 |
| 5 意欲的に働く力 | 「働く力を身につけ、働く喜びを感じることができる生徒」 |

- ・「育てたい力」を身につけるために、「**今取り組んでいること**」や、授業に限らず、学校生活全体を見渡して、それぞれが「**工夫していることや心がけていること**」、「**やってみて効果があったこと**」などをできるだけ多く出してみる時間として、結論を出すのではなく、多様な意見を聞き合いました。次年度の研究に向けて、それぞれの気づきや工夫につなげました。

■公開研究会、今年度の研究を終えて

成果

- 学年ごとのグループ編成にしたことで、生徒の実態について意見を出しやすく、情報共有ができた。
- 生徒の「主体的にかかわる力の育成」について、様々な方策を考え、授業を展開することができた。
- 中札内小中学校、更別農業高校の先生方とも一緒に研修を行い、互いに授業改善につながる情報交換を行うことができた。

■公開研究会、今年度の研究を終えて

課題

- 学年から1人授業者を選出したが、授業者が取り組む内容量が多くなってしまった。
- グループの人数が多かったため、授業のアイデアなど出しづらい状況が生まれてしまった。
- 「単元の計画」について深めることができなかった。
- 授業を見合うことが難しかった。

次年度（令和 7 年度）研究主題(案)

豊かに生活するための「自立活動」の探求 ～個別最適な学び・協同的な学びの充実を目指して～

□ 仮 説

- ・これまで授業改善に向けて実践してきた「主体的・対話的で深い学び」に関わり、重要な土台である「自立活動」に目を向けて、生徒指導や授業改善を行い、生徒に必要な力は何かをこれまで以上に深めることができるだろう。
- ・「個別最適な学び」と「協同的な学び」について往環的な視点をもって授業をデザインし、適切な単元や題材を精査することで、成果や課題を洗い出し、今後に向けて教育課程改善の糸口を得る機会となるだろう。